

京都社会学年報

第29号
2021年12月

〈論文〉

計画出産の推進・緩和からみる現代中国社会における生政治の実践と変貌
—— 家族計画の系譜と国際比較を通して —— 宋 円夢

移民的背景といじめ
—— TIMSS を用いた実証的分析 —— 中原 慧

推薦入試・AO入試の利用に対する文化資本の影響 遠藤 優太

〈書評論文〉

国家装置の中の女性の発見
—— 中華人民共和国における社会主義フェミニズム革命 —— 劉 恒宇
Wang Zheng,
*Finding Women in the State:
A Socialist Feminist Revolution in the People's Republic of China*
(University of California Press, 2017)

グローバル家族と育児
—— 台湾とアメリカ合衆国における育児、移住、階級 —— 相澤 亨祐
Pei-Chia Lan,
*Raising Global Families:
Parenting, Immigration, and Class in Taiwan and the US*
(Stanford University Press, 2018)

〈論文翻訳〉

1989年の討論 —— 社会の概念は理論的に時代遅れである (上) 鈴木 越生 訳
Tim Ingold ed.
"1989 Debate: The Concept of Society Is Theoretically Obsolete,"
Key Debates in Anthropology
(Routledge, 45-80, 1996)

[編集規定]

1. 本誌は京都大学大学院文学研究科行動文化学系社会学研究室の機関誌として、年1回発行する。
2.
 - 1) 本誌の編集は、「京都社会学年報」編集委員会の責任のもとに行われる。
 - 2) 編集委員会は本研究室の教員および大学院生代表者により構成される。
 - 3) 編集委員会に関するその他の細目は別に定める。
3. 本誌には、研究論文のほかに、書評論文、資料等の欄を設ける。
4.
 - 1) 本誌の投稿者は、原則として京都大学大学院文学研究科行動文化学系社会学研究室に所属する専任および非常勤の教員、ならびに大学院生・研修員、研究生とする。
 - 2) 投稿に関する細目は別に定める。
5. 論文等は、未公刊のものに限る。
6. 論文等は、編集委員会によって審査され、その掲載について検討される。
7. 本誌に掲載された原稿の著作権は、社会学研究室に帰属するものとする。著作者が本誌に掲載された文章を再録しようとする場合は、事前に本研究室に届けでる。
8.
 - 1) 論文等の原稿は、所定の執筆要項に準拠したものに限る。
 - 2) 執筆要項は別に定める。

目次

〈論文〉

- 計画出産の推進・緩和からみる現代中国社会における生政治の実践と変貌
—— 家族計画の系譜と国際比較を通して —— 宋 円夢 1
- 移民的背景といじめ
—— TIMSS を用いた実証的分析 —— 中原 慧 25
- 推薦入試・AO 入試の利用に対する文化資本の影響 遠藤 優太 49

〈書評論文〉

- 国家装置の中の女性の発見
—— 中華人民共和国における社会主義フェミニズム革命 —— 劉 恒宇 71
Wang Zheng,
*Finding Women in the State: A Socialist Feminist
Revolution in the People's Republic of China*
(University of California Press, 2017)
- グローバル家族と育児
—— 台湾とアメリカ合衆国における育児、移住、階級 —— 相澤 亨祐 83
Pei-Chia Lan,
Raising Global Families: Parenting, Immigration, and Class in Taiwan and the US
(Stanford University Press, 2018)

〈論文翻訳〉

- 1989年の討論 —— 社会の概念は理論的に時代遅れである (上) 鈴木 越生 訳 91
Tim Ingold ed.
"1989 Debate: The Concept of Society Is Theoretically Obsolete,"
Key Debates in Anthropology
(Routledge, 45-80, 1996)

〈執筆者紹介〉（掲載順）

インターネットが利用可能な方は、社会学研究室ホームページをご参照ください。
アドレスは <https://www.socio.kyoto-u.ac.jp/> です。

宋 円夢

博士課程1年次・京都大学大学院教育支援機構奨励研究員

家族社会学、家族計画

現在の研究テーマ：中国における計画出産の緩和に対する
人々の認識

E-mail: songyuanmeng1@gmail.com

中原 慧

博士後期課程1年次・日本学術振興会特別研究員 DC

社会階層論・移民研究

現在の研究テーマ：移民的背景のある児童生徒とその学力

E-mail: nakahara.akira.85s@st.kyoto-u.ac.jp

遠藤 優太

修士課程1年次

教育社会学、メリトクラシーと選抜、階層と教育

E-mail: endou.yuuta.73c@st.kyoto-u.ac.jp

劉 恒宇

博士後期課程2年次

家族社会学、歴史社会学、ジェンダー論

現在の研究テーマ：アジアの近代化と家族言説

E-mail: liuhengyu2020@gmail.com

相澤 亨祐

修士課程2年次

家族社会学、児童福祉

現在の研究テーマ：日本における「児童虐待」の社会問題
化過程の分析

E-mail: aizawa.ryosuke.46v@st.kyoto-u.ac.jp

鈴木 越生

同志社大学社会学部研修員・日本学術振興会特別研究員 PD

差異、知識生産、社会理論

現在の研究テーマ：多文化主義研究、カナダ先住民の運動
と思想

E-mail: sk321085@mail.doshisha.ac.jp

編集後記

▼今号は前号に続き、計6本の論文・書評論文・論文翻訳を掲載することができました。コロナウイルス感染予防の観点からオンラインの編集作業が昨年度から継続されることを受け、顔を合わせることがなくともだれもが投稿しやすい編集体制に改めるように委員間で話し合いを重ねてきました。具体的には、投稿経験のある院生に投稿過程でわかりにくいと感じる部分をヒアリングし、これらを反映する形で配布資料の加筆・修正を行ったほか、オンラインの投稿者会議でもこれらを周知しました。例外的な措置が相次いだにも関わらず、先生方や投稿者の皆様をはじめ、今号に携わってくださった皆さまは、大変に協力的で、作業をスムーズに進めることができました。コロナ禍においては人と人とのつながりを維持することが難しいとされますが、『年報』が社会学研究室全体をつなぐ一つの役目を果たしていたのではないかと感じております。最後に、今号の完成に至るまでご支援いただきました研究室内外のみなさまへ、心よりお礼申し上げます。
第29号編集委員 D3 大木香菜江 D2 劉恒宇 M2 小梢みなみ M2 佐藤慧

▼今学術論文を書くようになって40年。つくづく思うのは、文章が下手になったなあ、ということだ。学術論文の規格に合った文章を書けるようになればなるほど、一般人から見ると、とつきにくい、響かない文章になっていくような気がする。法学者の文章を読むと、皆が守らないとならない法律の話なのに、なぜそこまでわかりにくく書くのかと、つい笑ってしまうことがあるが、いやいやこれは他人事ではない。社会学を含む社会科学の研究成果は、社会の人々に読んでもらい、「社会的事実」の形成にほんの少しでも寄与してこそなんぼだ。もちろん論旨が不明瞭だったりごまかしがあったりする文章は論外なので、ピアレビューや指導に耐え、一般人とは一線を画した専門家となる訓練は必要だ。しかしそのうえで、人に届く、自由闊達な、多彩な言語表現を試みてもいいのではないか。つまり、心の欲する所に従ってのりをこえず、境地をめざしたい。(まだ何年か早いかな。)
落合恵美子

『京都社会学年報』編集委員会 代表 太郎丸博

〈査読委員〉

落合恵美子 田中紀行 太郎丸博 安里和晃 丸山里美 ステファン・ハイム

京都社会学年報 第29号

2021年12月25日発行

編集 京都社会学年報編集委員会
(編集代表 太郎丸 博)
発行 京都大学大学院文学研究科社会学研究室
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-2758 FAX 075-753-2836
製作 株式会社 田中プリント
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入
TEL 075-343-0006 FAX 075-341-4476



この本はそのまま読むことが困難な方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は発行人へご連絡をください。

《Editorial Regulations》

1. This journal is an annual publication of the Department of Sociology, Graduate School of Letters, Kyoto University, Kyoto, Japan.
2.
 - i) This journal is edited by the Editorial Board of the Kyoto Journal of Sociology.
 - ii) The Board consists of the professors and postgraduates of the Sociology Department.
 - iii) Details of the regulations of the Board are specially provided.
3. Contributions to this journal may be in the form of articles, review essays, etc.
4.
 - i) Contributors are generally limited to professors and postgraduates of the Department of Sociology, Graduate School of Letters, Kyoto University.
 - ii) Guidelines for contributors are specially provided.
5. Contributions are limited to previously unpublished articles.
6. Review of contributions is carried out by the Editorial Board.
7. The copyright for each article included in KJS belongs to the Department of Sociology. In cases any article published in KJS is reproduced elsewhere, the author should notify the Department in writing.
8.
 - i) Manuscripts submitted for review must follow the writing guidelines for contributors.
 - ii) The writing guidelines for contributors are specially provided.

Kyoto Journal of Sociology

No.29 December 2021

ARTICLES

Biopolitics in China, as seen through the Promotion and Relaxation of Family Planning Campaigns

Yuanmeng SONG

Immigrant Background and Bullying Victimization:
Empirical Analysis using TIMSS

Akira NAKAHARA

The Effect of Cultural Capital on the Use of Recommendation and Admissions Office Examinations for Higher Education

Yuta ENDO

REVIEW ESSAYS

Wang Zheng,
*Finding Women in the State:
A Socialist Feminist Revolution in the People's Republic of China*
(University of California Press, 2017)

Hengyu LIU

Pei-Chia Lan,
*Raising Global Families:
Parenting, Immigration, and Class in Taiwan and the US*
(Stanford University Press, 2018)

Ryosuke AIZAWA

ARTICLE TRANSLATION

Tim Ingold ed.
"1989 Debate: The Concept of Society Is Theoretically Obsolete,"
Key Debates in Anthropology
(Routledge, 45-80, 1996)

Takeo SUZUKI